



放射能(核種)検査報告書

51200

依頼者名: 株式会社サトーまつばら源泉精水所 御中

結果報告日: 2011年12月18日

測定日: 2011年12月18日

試料名: 震災後修繕完了源泉貯湯タンク水

報告書番号: RIN11TR053RL

株式会社 同位体研究所
代表取締役 埜 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量: 1566g×2

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるγ線スペクトロメーターによる核種測定
放射性セシウムの濃縮は、3M社製 RadDisk(固相抽出)による放射性セシウム選択回収による濃縮

分析結果: 放射性セシウム精密測定

核種	分析対象品目分類	測定値(Wet)	単位	参考(乾燥換算)
Caesium-134	測定時間: 20,000秒 水	ND	Bq/kg	0.08 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	0.08 Bq/kg
Cs合算		ND	Bq/kg	

検体量は、測定に供したの試料総量。

定量下限値未達は、不検出(Not Detected)の場合「ND」表示

放射能核種検査に関する注記:

本測定は、3M社製RadDisk(固相抽出ディスク)による放射性セシウムの選択回収による多量検体の濃縮による放射性セシウムの精密測定である。通常2Lのマリネリ容器の使用がγ線測定では最大容量であるが、RadDiskを使用する事で、より多量の検体より放射性セシウムを選択的に回収・濃縮が可能であり、より微量の検出が可能となる。測定については、「緊急時モニタリング計画における放射能測定・分析」に基づき放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。2Lマリネリ容器による20,000秒測定においては、定量限界は、概ね0.2Bq/L程度であるが、RadDisk使用により、測定に供する検体量を増加させる事ができ、定量下限を下げる事ができる。

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政による検査の場合を除く)